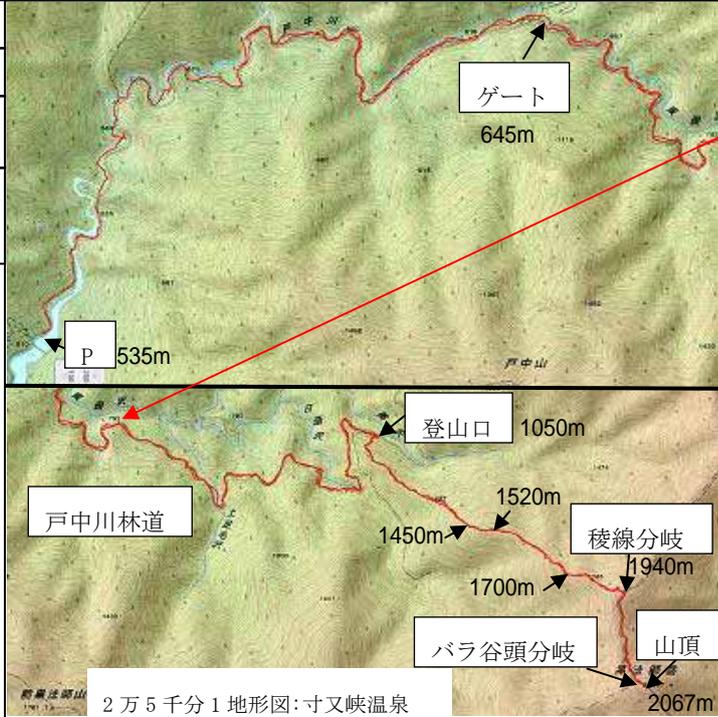


06月度 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">例会</span> 山行報告書		報告者	神戸	参加 メンバー	CL: 神戸、SL: 杉本、 津田、小野寺
<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">個人</span>		報告日	07/11		
山域	南アルプス深南部	山行日	12年 06月 23日 (土)		
山名	黒法師岳				
山行目的	新人トレーニング	コースタイム (天候: 天気図記号)			

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙: 集会  
担当者



6/22 曇り  
24:30 水窪ダム着  
6/23 曇り  
5:00 林道決壊場所スタート(ゲート手前6km) (535m)  
6:25-35 ゲート直前で一本(645m)  
8:10-30 登山口一本(1050m)  
9:25-35 一本(1450m)  
10:25-35 一本(1700m)  
11:15-30 稜線分岐一本(1940m)  
11:55-12:05 黒法師岳頂上(2067m)  
12:25-35 稜線分岐一本  
13:20-30 一本(1520m)  
14:15-25 登山口一本



〈山行報告〉 刈谷から豊橋を經由して新城方面から水窪町に進むと佐久間ダムすぐ下流の原田橋が通行止め。水窪への迂回が不明で一時東栄町まで戻り一時間ほどロスとなる。水窪ダム湖畔の東屋にテントを張ると即就寝。4時半には撤収して、ゲートに向かうがまた全面通行止めの看板が。結局昨年9月の台風でやられた林道の路肩が先週の台風4号でまた崩れたらしい。林道歩きがゲートまで約6km追加なのに約一時間追加と伝えて進んだ。一時間半歩いてもう限界と思って一本とった場所の200m先がゲートであった。さらに6kmだが所々林道が崩れて車はもう通れないかもしれない。登山口は立派な案内があり、道も思ったほど踏み跡は薄くは無い。所々で倒木の迂回やガレのそばさえ気を付ければ迷うことは無いが、等高線が等しく詰まった急登という謂れの尾根は時に高巻いたり、木の根の階段を攀じるように歩いた。二回の休憩を経て、弁当ころがしという看板で右に折れるとすぐ稜線分岐にでた。目指す黒法師はかろうじてガスの中に浮かんで見えたが、丸盆岳の頂上は拝めなかった。ここに荷物をデポして、黒法師岳を往復する。途中のガレ手前で熊糞らしきものを発見。山深さを感じた。ちょうど正午に登頂。お目当ての三角点は深く埋まっていた。本当は泊まりたかったが日帰り計画の為、ひたすら戻るだけである。丸盆岳もバラ谷の頭も次回のお楽しみだ。今はまた来る元気が沸かないが。

急な尾根は登りの倍のペースで降りきった。これから長い林道歩き。今回メンバーは夏合宿の5人中4人なので、そのことを話し合ったりして、時間をつぶしたが、おそらくこんな長い林道歩きはめったにないだろう。ということで、林道歩きで精神的な修行を積んだ山行であった。



〈リーダー所見〉この山行の2週間前には林道ゲートまで車が入った記録あり。水窪治山事務所に事前確認したが要領を得なかった。いずれにせよ今回のメンバーはお疲れ様でした。特に新人の小野寺さんはご苦労様でした。林道がトラウマにならないようにまた精進してください。



確認  
(リーダー)  
神戸  
12/07/10  
戸  
作成  
(報告者)  
神戸  
12/07/10  
戸